

(5) 中期財政指標

平成29年度までの経営健全化に向けて、次の財政指標を目指します。

項目		23年度	24年度	25年度	内部評価	26年度	27年度	28年度	29年度
①総収支比率(%) ※大きいほど健全	目標	90.2	91.6	98.3	A 達成	97.8	98.9	95.9	100.7
	実績	90.31	91.18	102.55					
②処理区域内人口1人当たり借入金残高(千円/人) ※小さいほど効率が良い	目標	371	360	346	A 達成	334	321	310	297
	実績	367	352	335					
③水洗化率(%) ※高いほど良い	目標	88.9	89.3	89.6	B ほぼ達成	90.2	90.8	91.6	91.7
	実績	89.04	89.19	89.14					
④汚水処理原価(円/m ³) ※低いほど良い	目標	189	183	181	A 達成	181	176	177	174
	実績	189.14	178.57	163.41					
⑤収益的業務所属職員1人当たり処理区域内人口(人) ※多いほど良い	目標	6,092	6,160	6,253	A 達成	6,336	6,418	6,482	6,609
	実績	6,067	5,998	6,978					

備考 A…達成(目標値以上)、B…ほぼ達成(目標値の90%以上100%未満)、C…未達成(目標値の90%未満)

項目	説明及び算式
①総収支比率(%)	総収益と総費用を対比したものであり、収益と費用の相対的な関係を示すものである。総収益/総費用×100 (25年度 8,210,264千円/8,005,802千円×100)
②処理区域内人口1人当たり借入金残高(千円/人)	企業債残高/処理区域内人口 (25年度 95,912,865千円/286,096人)
③水洗化率(%)	処理区域内人口のうち、実際に水洗便所を設置して汚水を処理している人口の割合で、100%に近づくよう常に努力しなければならない。 水洗化人口/処理区域内人口×100 (25年度 255,051人/286,096人×100) (24年度 251,435人/281,919人×100)
④汚水処理原価(円/m ³)	有収水量1m ³ 当たりの使用料収益である。これが処理した汚水1m ³ の単価である。 汚水処理費(汚水に係る維持管理費+資本費)/有収水量 (25年度 (2,051,802千円+3,572,971千円)/34,420,237m ³ ×1,000)
⑤収益的業務所属職員1人当たり処理区域内人口(人)	処理区域内人口/平均損益勘定所属職員数 (25年度 286,096人/41人)